

茨城大学
図書館の

土曜 アカデミー

地域の皆様と、学生たちと、
ともに学び楽しむイベント、講座のご案内

2015年度後期 2015.10～2016.2

すべての事業が
無料です。

申し込みも
不要です。

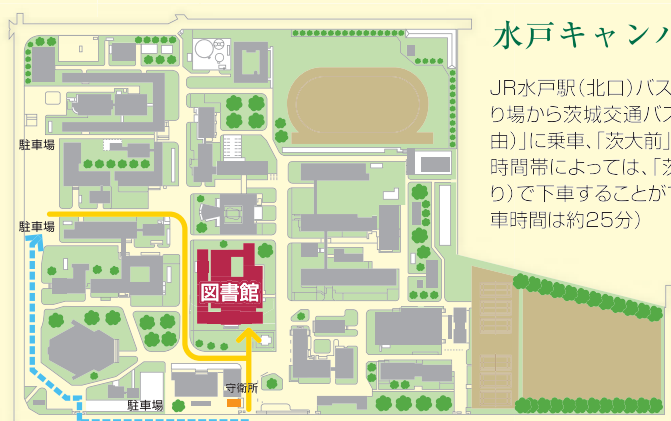
どなたでも
ご参加いただけます。

主催 茨城大学図書館

共催 茨城大学COC統括機構
茨城大学社会連携センター

茨城大学図書館

〒310-8512 水戸市文京2-1-1 茨城大学水戸キャンパス



水戸キャンパス

JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、「茨大前」で下車。
時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

※車でお越しの際は、守衛所()で入校許可証を受け取り、
車で矢印()の通りに進んだ先の駐車場にお止めください。

問合せ先

茨城大学図書館利用支援係

TEL 029-228-8076

Mail ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp

ラムサール条約登録記念・連続講座 「人と自然の 涸沼〈ひぬま〉へ」

① ウォッチング! 涸沼

【日 時】 2015年10月3日(土) 13時～15時

【内 容】 「涸沼の自然と茨城大学ー開講の挨拶にかえてー」 三村 信男(茨城大学長)
「汽水湖のヒミツ」 信岡 尚道(茨城大学工学部准教授)
「ラムサール条約ー兄弟登録地を訪れてー」 大辻 永(茨城大学教育学部准教授)

② 探索する涸沼!

【日 時】 2015年11月7日(土) 13時～15時

【内 容】 「ヨシ原の世界へようこそ!」 廣瀬 誠(茨城虫の会会長)
「涸沼ニシン標本の発見!ー標本記録から見た涸沼の原風景ー」
加納 光樹(茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター准教授)
金子 誠也(東京大学大学院生)

③ 涸沼の現在・過去・未来!

【日 時】 2015年12月19日(土) 13時～15時

【内 容】 「もののふたちの涸沼ー内海世界の将門と貞盛ー」 高橋 修(茨城大学図書館長・人文学部教授)
「涸沼に育ち育てられ」 田口 真一(茨城町生活経済部みどり環境課環境グループ長)
「涸沼サポーターから未来へのメッセージ」 参加者

*3回通してご参加いただいた方には、クリーンアップひぬまネットワークより、記念品が贈呈されます。

【内容】 2015年5月29日、涸沼(ひぬま)は、ラムサール条約という、水鳥を中心とした生物や湿地の保全、そしてワイズユース(賢い利用)を目的とした国際条約に登録されました。これまで涸沼の研究や環境保全に関わってきた茨城大学では、これを機に、涸沼の魅力を市民の皆様とともに探る連続講座を企画しました。①は、海岸工学のパイオニアである三村学長のミニレクチャーを皮切りに、汽水湖の秘密を探り、同時に登録された佐賀県の干潟への視察からラムサール条約についてあらためて考えます。②は、涸沼の豊かな自然について、ヒヌマイトンボの発見者である広瀬誠先生に、トンボの視点から見えてくる涸沼についてお話しいただきます。あわせて涸沼の魚類についてもご紹介します。③では、まず内海としての涸沼の歴史的特質について考え、涸沼に育った茨城町職員の田口氏に、涸沼のナマの魅力について語っていただきます。最後には、涸沼の未来を見据える参加者全員による簡単なワークショップを予定しています。ふるってご参加ください。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【共催】 茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)
茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター

【後援】 茨城県 クリーンアップひぬまネットワーク 茨城町

※この事業は、平成27年度茨城大学戦略的地域連携プロジェクトの支援を受けています。





COCの公開講座 「茨城学への招待」

- ① [日 時] 2015年10月10日(土) 13時～15時
 [内 容] 「茨城を皆であらためて考える第一歩」
 [講 師] 内田 聡
 (茨城大学人文学部教授・茨城大学COC統括機構副機構長)

- ② [日 時] 2015年10月31日(土) 13時～15時
 [内 容] 「岡倉天心と茨城」
 [講 師] 清水 恵美子 (茨城大学社会連携センター准教授)



[内容] 茨城大学は平成26年度に「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択されました。平成27年度から、地域課題と向き合い、学部横断型のアクティブラーニングである地域志向教育を開始しました。「茨城学」は県の歴史・自然・文化・産業などの修学を通じ、理解を深めさせると同時に、地域を多角的に捉える力を身につけさせる1年次必修科目です。講義だけでなく、振り返り用紙の記入、学生間や講師との意見交換から構成されており、大学の全学部の教員、自治体や地元企業の講師が登場します。今回の講座は、この「茨城学」を一般公開するものです。①は「茨城学」の発展として、茨城県とはどういうところかをあらためて考える授業、②は本学とかがわりが深く、地域の文化資源であり観光資源でもある岡倉天心と六角堂を考える授業を行います。茨城について学び、多様な意見に接し、課題を深く考える場にしたいと思います。茨城について一緒に語り合いましょう。

[会場] 茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ



「くるま座」談会 21世紀のサステナビリティ学を語ろう!

- ① [日 時] 2015年10月17日(土) 13時～15時
 [内 容] 「環境平和学とサステナビリティ学」
 [話題提供] 蓮井 誠一郎 (茨城大学人文学部教授)
- ② [日 時] 2015年12月19日(土) 13時～15時
 [内 容] 土地の成り立ちから見たサステナビリティ
 [話題提供] 小荒井 衛 (茨城大学理学部教授)
- ③ [日 時] 2016年1月9日(土) 13時～15時
 [内 容] 「茨城の郷土料理から考えるサステナビリティ学」
 [話題提供] 石島 恵美子 (茨城大学教育学部准教授)

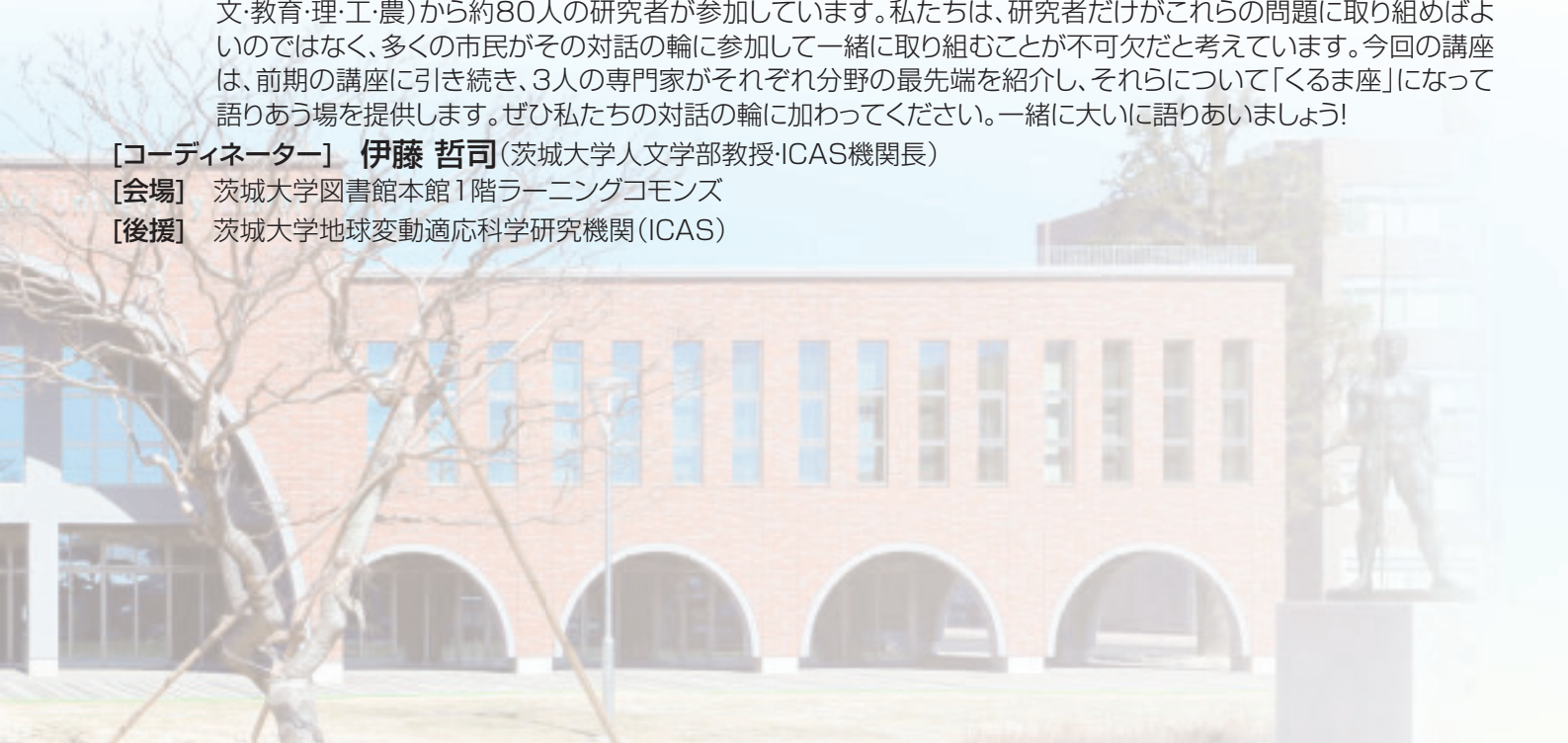


[内容] 現在の世界は、地球温暖化、気候変動、食糧問題、エネルギー問題等々が山積しており、持続可能(サステナブル)になっていないという指摘がされています。そのような問題意識の共有により、21世紀になって生まれたのがサステナビリティ学(持続可能性学)です。茨城大学ではこの諸問題に取り組むために、2006年に地球変動適応科学研究機関(Institute for Global Change Adaptation Science: ICAS)を立ち上げ、現在、全学部(人文・教育・理・工・農)から約80人の研究者が参加しています。私たちは、研究者だけがこれらの問題に取り組めばよいのではなく、多くの市民がその対話の輪に参加して一緒に取り組むことが不可欠だと考えています。今回の講座は、前期の講座に引き続き、3人の専門家がそれぞれ分野の最先端を紹介し、それらについて「くるま座」になって語りあう場を提供します。ぜひ私たちの対話の輪に加わってください。一緒に大いに語りあいましょう!

[コーディネーター] 伊藤 哲司 (茨城大学人文学部教授・ICAS機関長)

[会場] 茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ

[後援] 茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)



ブック・カフェ

- ① [日 時] 2015年11月7日(土) 13時～15時
[テキスト] アレクサンドル・デュマ・フィス(小デュマ)『椿姫』＝新潮文庫(680円)など
恋愛小説の代表作。ヴェルディのオペラでも有名です。
- ② [日 時] 2015年12月5日(土) 13時～15時
[テキスト] ジェイムズ・ジョイス『ダブリンの市民』＝岩波文庫(1015円)など
ダブリンの市民の日常生活を描いた連作短編集。20世紀最大の作家とされるジョイスの世界にここから入りましょう。
- ③ [日 時] 2016年2月6日(土) 13時～15時
[テキスト] 川端康成『千羽鶴』＝新潮文庫(562円)など
『伊豆の踊子』『雪国』『古都』など、日本の美や愛を描いた他作品とともにじっくり味わいたいと思います。
*テキストはお持ちのものなど、どの出版社の版でもかまいません。事前に読み、当日、その本を持っておいで下さい。お好きな回だけの参加も可能です。

[内容] 誰でも聞いたことがある、以前に読んだことのある「名作・古典」を読んで集まり、西野先生のレクチャーを受けながら、グループに分かれて語りあいます。これまでとちがった本の読み方ができ、作品への理解が深まります。「いろいろな世代の人の意見を聞けて楽しかった!」「読んでみてよかった」と好評いただいています。ごいっしょに、本を読む楽しさを味わいましょう!

[会場] 茨城大学図書館本館1階ライブラリーカフェ(エントランスホール集合)

[ナビゲーター(講師)] 西野 由希子(茨城大学人文学部教授)

[後援] 人文学部西野ゼミ

*お飲み物は各自ご負担いただきます。なおご参加いただいた方全員に、「次回コーヒー無料サービス券」(2ヶ月間有効)を進呈します。



みんなの考古学 どきドキ講座2015

[日時] 2015年11月28日(土) 13時～14時30分

[講師] 田中 裕(茨城大学人文学部教授)

[内容] 「巨大古墳が築かれたところの東日本一水戸市愛宕山古墳・石岡市舟塚山古墳の調査から」

墳丘長が200mを超える規模の古墳を、巨大古墳といいます。奈良県を中心に古墳時代の最初からありますが、とりわけ中国南朝の史書に記されている「倭の五王」の時代とされる5世紀には、仁徳陵古墳や応神陵古墳を初めとして、最大規模の古墳が築かれます。このころの関東でも、ごく少数ですが、関西の巨大古墳に匹敵する大きな古墳が築かれます。その代表例が茨城県石岡市の舟塚山古墳と、水戸市の愛宕山古墳です。茨城大学人文学部考古学研究室では、これらの築かれた背景をさぐるべく、他大学と協力しながら調査を実施しており、今回の講座では、最新の調査成果から、古墳築造の「最盛期」といわれる時期を紐解きます。

[場所] 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール [後援] 茨城大学考古学研究会



水戸ホーリーホックのフットボール・カフェ

[日時] 2015年12月12日(土) 13時～15時

[出演] トップチーム選手若干名(当日発表)

寺田 忍(茨城大学OB、水戸ホーリーホックホームゲームスタジアムDJ)

ホーリーくん(水戸ホーリーホックマスコット)

[顧問] 藤縄 明彦(茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク代表代行、茨城大学理学部教授)

[内容] 水戸市等をホームタウンとするプロサッカークラブ・水戸ホーリーホックと国立大学法人茨城大学は連携協定を結んでいます。両者のコラボでフットボール・カフェが実現しました。水戸ホーリーホックの歩み、地域密着のクラブ経営の楽しさや難しさ、Jリーガーたちの舞台裏等など、スタジアムDJを勤める寺田忍さんが鋭く斬り込む、他では聞けないトークイベントです!

[会場] 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール [共催] FC水戸ホーリーホック

[後援] 茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク 茨城大学アナウンスステーション



「秋山文庫」開設記念講演会

【日時】 2015年12月12日(土) 15時30分～17時 ※開場は15時になります。

【講師】 秋山 高志

(幡谷教育振興財団理事、元目白大学教授、元茨城県立高校教諭)

【内容】 「私の茨城地域史研究」

近世史・地域史研究者として知られる秋山高志先生。御自身の研究資料として長年にわたり収集された多くの貴重な古文書を、このたび茨城大学図書館に寄贈していただきました。図書館では、今後「秋山文庫」として広く公開し、教育や研究に活用させていただく準備を進めています。資料受贈を記念して、本学のOBでもある秋山先生に、収集した資料について、近世史研究者としての歩みについて、地域の皆様、学生たちに向けたメッセージをいただきます。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【共催】 茨城大学人文学部歴史・文化遺産コース

【後援】 茨城史料ネット



ビブリオバトル in茨城大学

【日時】 2016年1月30日(土) 13時～15時

【進行】 飯塚 大空(茨城大学大学院生)

【顧問】 谷口 基(茨城大学人文学部教授)

【内容】 「本の魅力を伝え合う知的書評合戦!」

昨年度の土曜アカデミーにおいて、初開催にして好評を博したビブリオバトルが、今年度も茨城大学で行われます。出場者それぞれが「この本は面白い!」「この本を他の人にも知って欲しい!」と思う「心の一冊」の魅力を5分間で語り、参加者全員の投票で、一番読みたくなった本No.1を決めるゲームです。当日は2ゲーム実施します。準備するのは、紹介する本だけでOK! ジャンルも自由! 当日飛び入り参加も大歓迎です!

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ



茨城が生んだ江戸時代の地図学者2

【日時】 2016年2月6日(土) 13時～14時30分

【講師】 小野寺 淳(茨城大学教育学部教授)

【内容】 「長久保赤水の地図」

長久保赤水(1717-1801)は高萩市赤浜の庄屋の家に生まれました。鈴木玄淳や名越南溪に学び、明和4(1767)年水戸藩の命により漂流者引き取りに長崎へ赴き、翌年水戸藩郷士格、「大日本史 地理志」の編纂に従事しています。50歳代になると本格的に地図製作を行い、安永8(1779)年に「改正日本輿地路程全図」、天明5(1785)年には「地球萬国山海輿地全図説」と「大清広輿図」など、多くの地図を作製し刊行しました。これら長久保赤水が編集し作製した地図は「赤水図」と呼ばれ、江戸時代中期における最もポピュラーな地図として、たいへん人気を博しています。江戸時代中期の最も著名な地図製作者である茨城の先人、長久保赤水の生涯とその地図製作過程の一端を、新出の史料とともに紹介いたします。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール





古文書寺子屋 はじめの一步

【日時】 2016年2月20日(土) 13時～16時30分

【講師】 添田 仁(茨城大学人文学部准教授)
千葉 真由美(茨城大学教育学部准教授)
木戸 之都子(茨城大学人文学部助手)

【内容】 江戸時代の水戸に生きた人びとのくらしぶりを、茨城大学図書館に収められている古文書から読み解いてみたいと思います。古文書は、江戸時代を生きた人たちからのメッセージです。そのメッセージのつまったタイムカプセルを開ける鍵が「くずし字」です。解読の初歩を学びたい方、大歓迎。大学生と一緒に、みなさんも古文書の世界へ一歩ふみ出してみませんか。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons 3階ライブラリーホール

【後援】 人文学部添田ゼミ 教育学部千葉ゼミ 茨城史料ネット



館長講座 「中世茨城[常陸・北下総]のもののふたち」

①【日時】 2015年11月28日(土) 15時30分～17時

【内容】 「治承・寿永の内乱と平氏一族」

常陸平氏の一族にとって、「源平合戦」とは何だったのか?彼らは頼朝の鎌倉幕府創業にどうかかわったのか?謎の多い内乱期平氏一族の動向に迫ります!

②【日時】 2016年1月30日(土) 15時30分～17時

【内容】 「建久四年の政変と『常陸平氏』の創出」

曾我兄弟の仇討事件の裏で、もう一つの政変劇が進行していた。追い詰められる多気義幹。そして守護となる八田知家、武士団の主導権を握ろうとする馬場資幹の思惑とは?館長講座「常陸平氏編」、ここに完結!

【講師】 高橋 修(茨城大学図書館長・人文学部教授)

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【後援】 茨城大学中世史研究会



茨城大学図書館2015年度後学期企画展

「東日本大震災と文化遺産(仮)」

【内容】 東日本大震災で被災し、茨城や東北各地で、ボランティアの活動により救い出された文化遺産を公開します。地震で崩れかけた土蔵から発見された“独眼竜”政宗の密書、旧警戒区域から運び出された甲冑や陣羽織、一度津波に流されながらも奇跡的に持ち主のもとへと帰りついた古文書など、各地から資料をもちより展示します。未曾有の大災害から4年半を経た今、ふるさとのかけがえのない文化遺産が、地域の歴史と文化を語り始めます。

【会期】 2015年11月14日(土)～12月6日(日) ※11月21日・23日は休館日

【会場】 茨城大学図書館本館1階 展示室

【主催】 茨城大学図書館 科学研究費補助金(基盤研究S)「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて—」(代表:奥村弘)



伊達政宗起請文(ひたちなか市菊池家蔵)



甲冑と幟旗(双葉町泉田家蔵)

関連企画

第11回茨城大学人文学部地域史シンポジウム

「自然災害に学ぶ茨城の歴史—被災の記憶・教訓を後世に—」

【日時】 2015年12月5日(土)12時30分

【会場】 茨城大学人文学部 人文講義棟10番教室